



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社
 コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 大無

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 慎也

TEL 03-5847-8556

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,038	12.6	56	69.4	57	70.1	38	70.8
2019年9月期第2四半期	921		183		191		131	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	28.74	28.47
2019年9月期第2四半期	105.71	

(注) 当社は、2018年9月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。また、2019年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2019年3月31日時点において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,361	839	61.6
2019年9月期	1,288	800	62.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 839百万円 2019年9月期 800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		0.00	0.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,005	7.1	10	95.9	2	99.0	0	99.6	0.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	1,334,000 株	2019年9月期	1,333,600 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	株	2019年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	1,333,867 株	2019年9月期2Q	1,240,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻くインターネット業界・インターネット広告市場においては、スマートフォンを中心としたモバイルインターネットの普及とSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の拡大により、引き続き順調な成長が見込まれております。一方で、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、景気の後退懸念や先行き不透明感が増している状況であります。

このような状況のもと、当社は、2020年9月期を将来の大きな成長に向けた積極投資施策の実行年度と位置づけ、営業人員・開発人員ともに人材への積極投資を行うとともに、当社サービス「リビンマッチ」の認知度向上に向けて、引き続き積極的な広告出稿を展開しております。2020年2月3日には、当社のイメージキャラクターとして元大相撲力士の舞の海秀平氏を起用することを発表しており、今後もエンドユーザー・加盟企業双方のさらなる認知度向上を図ってまいります。また、加盟企業の登録状況に応じた機動的な広告出稿を行い、広告配信エリアや問い合わせ獲得コストを勘案した営業展開を可能にするため、2019年11月1日付でマーケティング部門と営業部門を統合し、マーケティング効率の継続的な改善を推進しております。さらには、新ビジネスの積極的な推進を図るため、同じく2019年11月1日付で事業提携やM&Aを推進する専任部署として事業企画部を新設し、2019年11月15日には、不動産実務担当者向けeラーニングサービスの提供による新事業領域への拡大、2019年12月2日には、解体工事マッチングサービスを運営する株式会社クラッソーネとの業務提携を開始する等、重点施策を着実に実行してまいりました。また、新たなサービスの一環として、2020年3月31日付でベスト不動産カンパニー認定制度を開始しております。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益1,038,164千円（前年同期比12.6%増）、営業利益56,121千円（前年同期比69.4%減）、経常利益57,160千円（前年同期比70.1%減）、四半期純利益38,333千円（前年同期比70.8%減）となりました。

なお、当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,361,289千円となり、前事業年度末と比較して72,449千円増加いたしました。これは主に、売掛金が56,147千円、その他の流動資産が30,692千円増加した一方で、現金及び預金が13,391千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は522,218千円となり、前事業年度末と比較して34,099千円増加いたしました。これは主に、未払金が86,879千円増加した一方で、長期借入金が30,000千円、未払法人税等が19,866千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は839,071千円となり、前事業年度末と比較して38,349千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を38,333千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ16,392千円減少し、860,015千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は16,873千円（前年同四半期は9,382千円の獲得）となりました。これは主に未払金の増加額86,879千円、税引前四半期純利益57,160千円の計上があった一方で、売上債権の増加額56,147千円、その他の資産負債の増減額41,492千円、法人税等の支払額34,599千円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は3,281千円（前年同四半期は2,684千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出3,000千円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は29,984千円（前年同四半期は14,990千円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出30,000千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2019年11月12日の「2019年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	896,409	883,018
売掛金	258,656	314,803
その他	25,522	56,214
貸倒引当金	△6,522	△6,792
流動資産合計	1,174,066	1,247,243
固定資産		
有形固定資産	9,276	9,020
無形固定資産	9,580	8,498
投資その他の資産		
その他	98,320	98,024
貸倒引当金	△2,403	△1,497
投資その他の資産合計	95,916	96,526
固定資産合計	114,774	114,045
資産合計	1,288,840	1,361,289
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,247	4,140
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	139,135	226,015
未払法人税等	42,690	22,824
その他	81,042	79,235
流動負債合計	328,115	392,215
固定負債		
長期借入金	160,003	130,003
固定負債合計	160,003	130,003
負債合計	488,118	522,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,532	192,540
資本剰余金	161,532	161,540
利益剰余金	446,658	484,991
株主資本合計	800,722	839,071
純資産合計	800,722	839,071
負債純資産合計	1,288,840	1,361,289

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業収益	921,914	1,038,164
営業費用	738,762	982,043
営業利益	183,152	56,121
営業外収益		
受取利息	499	501
助成金収入	8,520	—
貸倒引当金戻入額	879	845
その他	1,034	37
営業外収益合計	10,933	1,385
営業外費用		
支払利息	717	346
支払手数料	2,290	—
営業外費用合計	3,007	346
経常利益	191,078	57,160
税引前四半期純利益	191,078	57,160
法人税等	59,999	18,827
四半期純利益	131,078	38,333

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	191,078	57,160
減価償却費	869	1,855
差入保証金償却額	1,333	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△746	270
受取利息	△499	△501
支払利息	717	346
助成金収入	△8,520	—
支払手数料	2,290	—
売上債権の増減額 (△は増加)	5,211	△56,147
仕入債務の増減額 (△は減少)	425	△1,106
未払金の増減額 (△は減少)	△86,235	86,879
未払費用の増減額 (△は減少)	△6,264	△2,221
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,837	6,256
その他	△358	△41,492
小計	84,463	51,297
利息の受取額	503	505
利息の支払額	△696	△330
助成金の受取額	8,520	—
支払手数料の支払額	△2,290	—
法人税等の支払額	△81,117	△34,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,382	16,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	—	△516
無形固定資産の取得による支出	△563	—
差入保証金の差入による支出	—	△610
その他	879	845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,684	△3,281
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△35,010	△30,000
その他	—	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,990	△29,984
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,688	△16,392
現金及び現金同等物の期首残高	572,979	876,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	594,668	860,015

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。